

●朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)

イラン駐在北朝鮮大使館開館

2017年8月4日発『朝鮮中央通信』によれば、イラン駐在北朝鮮大使館が同月3日に開館した。

中国国際問題研究院代表団が北朝鮮訪問

2017年8月4日発『朝鮮中央通信』および中国国際問題研究院ホームページによれば、同年7月31日～8月4日に中国国際問題研究院の蘇格院長を団長とする3名の代表団が北朝鮮を訪問、外務省を表敬訪問し、李吉成副相と会見したほか、軍縮と平和研究所の金勇国所長や朝鮮社会科学院を訪問したほか、板門店を訪問した。

金永南最高人民会議常任委員会委員長、イラン大統領就任式に参加、大統領と会談

2017年8月7日発『朝鮮中央通信』によれば、金永南最高人民会議常任委員会委員長が同月5日、テヘランで開かれたイラン大統領就任式に参加した。翌6日にはハサン・ロウハーニー大統領と会談した。このほかに、ジンバブエのロバート・ムガベ大統領、キューバのウリセス・ロサレス・デルトロ革命評議会副議長、コンゴ民主共和国副首相、スリランカ民主社会主義共和国国会議長、カメルーン共和国国会の上院議長、ナミビア共和国大統領特使、国際議会同盟委員長と書記長とも面会した。

国連安保理決議第2371号を全面的に排撃する北朝鮮政府声明

2017年8月7日発『朝鮮中央通信』によれば、北朝鮮政府は次のような声明を発表した。(1) 米国と敵対勢力が操作して出した国連安全保障理事会の反共和国「制裁決議」は、私たち共和国の自主権に対する乱暴な侵害で、厳しく断罪糾弾し、全面排撃する。(2) 米国が我々の自主権と生存権、発展権を抹殺する国連安全保障理事会「制裁決議」をついに操作し出した以上、私たちはすでに明らかにした

通り、断固たる正義の行動へと移る。(3) わが国家と人民を相手に犯している米国の極悪な犯罪の対価を千倍にして返す。

金正恩委員長、国防科学院化学材料研究所を視察

2017年8月23日発『朝鮮中央通信』によれば、金正恩朝鮮労働党委員長が国防科学院化学材料研究所を視察した。同研究所は、国防科学院化学材料研究所では、「火星」シリーズロケットの熱保護材料と戦闘部、噴出口の材料をはじめ、各種の近代的な武装装備に使われる様々な化学材料の研究開発と生産を保証しており、近年、自らの力と技術で大陸間弾道ロケットの戦闘部尖頭と固体エンジン吹出口の製作に利用する最先端材料である3Dカーボン／カーボン炭化ケイ素複合材料を研究開発して国産化に成功することで、初の大陸間弾道ロケットの試験発射で大成功を成し遂げることに大きく寄与したと報道している。

北朝鮮、第6回目の核実験を実施、金正恩委員長が指導

2017年9月4日発『朝鮮中央通信』によれば、同月3日、核実験が行われ、金正恩委員長が「核兵器兵器化事業を現地で指導した」。朝鮮労働党中央委員会軍需工業部の責任幹部と核兵器研究所の科学者たちが現地で金正恩委員長を迎えた。

朝鮮労働党政治局常務委員会開催、金正恩委員長が参加

2017年9月4日発『朝鮮中央通信』によれば、同月3日午前、朝鮮労働党政治局常務委員会が開催された。金正恩委員長のほか、金永南、黄炳瑞、朴奉珠、崔竜海の各氏が参加した。この会議では、(1) 現在の国際政治情勢と朝鮮半島に作られた軍事的緊張状態の分析と評価、(2) 核兵器研究所が実施した核兵器兵器化研究事業(核実験)の実態についての報告を聴取し、朝鮮労働党第7回大会が提示した国家の核武力完成の完結段階の目標を達成するための一環として、大陸

間弾道ロケット搭載用水素爆弾試験を進行する問題、(3) 決定書「国家核武力完成の完結段階の目標を達成するための一環として、大陸間弾道ロケット搭載用水素爆弾試験を行うことについて」の採択と、金正恩委員長による命令への署名、(4) 米国と敵対勢力の悪辣な反共和国制裁策動を牽制し、党第7回大会が提示した部門別闘争課題(国家経済発展5カ年戦略)を成功裏に実施させるための具体的な方途と対策の討議、が行われた。

全国の協同農場の90%で遠隔営農技術問い合わせシステムが運用中

2017年9月11日付『朝鮮新報』によれば、農業省と科学研究機関、各級の農業指導機関と全国の90%に相当する数千の協同農場をコンピューター網で連結して、技術的な問題をリアルタイムで互いにやり取りしながら協議し、対策をとる情報技術システムである遠距離営農技術問い合わせサービスシステムが導入されているとのことだ。

国連安保理決議第2375号に対する外務省スポークスマン声明

2017年9月11日発『朝鮮中央通信』によれば、同日、北朝鮮外務省は、国連安保理決議第2375号に関連して、米国を強く非難するスポークスマン声明を発表した。

『朝鮮語大辞典(充補版)』発刊

2017年9月14日付『朝鮮新報』によれば、社会科学院言語学研究所が44万語を収録し、4分冊で総7000ページの『朝鮮語大辞典(充補版)』を発刊したとのことである。

金正恩委員長、黄海南道クァイル郡を視察

2017年9月21日発『朝鮮中央通信』によれば、金正恩国務委員長がリングなどの果樹栽培で有名な黄海南道クァイル郡を視察した。

ERINA 調査研究部主任研究員
三村光弘